

日本共産党甲賀市議員団 市長に緊急申し入れ



新型コロナ

感染拡大抑止のため大規模な検査を

新型コロナウイルスの新規感染者数の減少の下げ止まりが顕著であり、感染力が強いとされる変異株の流行が懸念されるなど感染再拡大(リバウンド)の危険があることから15日、日本共産党甲賀市議員団は岩永市長に、緊急の申し入れを行いました。

樫野健康福祉部長に申し入れ書を手渡し、申し入れの主旨を説明しました。(写真は右から樫野部長、山岡・小西・岡田議員)

■申し入れは以下の4項目です。

1. 何よりもPCR検査を抜本的に見直し、大規模に、網羅的に検査を行うこと。「県の責任」と刷るのではなく、市としても積極的対策を講じること、県と連携して感染拡大防止に力を入れること。
2. クラスタが多く発生している医療機関や高齢者・介護・福祉施設での社会的検査を定期的実施すること。
3. 感染力の強い変異株を抑えるためにもPCR検査とゲノム解析を行うこと。
4. コロナワクチン接種体制に万全を期すとともに、感染防止のためには、ワクチン頼みではなく、PCR検査の拡大と一体で取り組むこと。

PCR検査が盛り込まれていない予算案 「アフターコロナ」に力を入れた施策

3月予算議会
2.18~3.26

3月議会は、11日に厚生文教・12日産業建設・15日に総務の各常任委員会が開催され、付託された議案の審査が行われました。16日から22日まで、予算決算常任委員会一般会計の集中審査が行われています。26日の本会議最終日に常任委員会委員長報告、質疑、討論、採決が行われます。厚生文教常任委員会では岡田議員が、産業建設常任委員会では小西議員が、総務常任委員会では山岡議員が、予算決算常任委員会では3議員が積極的に発言し、議案をチェックしました。

新型コロナウイルスの滋賀県の陽性者数は、人口100万人あたりで見ると、大阪に次いで高い感染者となっており、全国的に日々の感染者が下げ止まり傾向がみられる中で、相次いでクラスター発生等により、陽性者が増えていくなかでも、甲賀市の感染者の多さに市民から不安の声が広がっています。新たな感染者が発見されれば、疫学調査による濃厚接触者を特定し、行政検査を実施されていますが、その規模が非常に限定的であることから、新たな感染者を生み出しています。

いまだ大切なことは、濃厚接触者だけに限らず、PCR検査を大規模に網羅的に実施する意義は、何よりも無症状感染者を発見し保護することです。ここが感染拡大防止のカギと言えます。特に、クラスターが多く発生している医療機関や高齢者・介護・福祉施設での社会的検査を頻回に定期的実施することが重要で

ところが甲賀市の新年度予算は、感染防止の資器材の購入などは各分野で対策が行われていますが肝心の検査が組込まれていません。議員団は機会あることに重ねて強く求めています。

市職員数の推移 (市役所全職場)

| | 2020年度 | 2021年度 |
|--------|--------|--------|
| 正規職員 | 814 | 813 |
| 再任用職員 | | |
| フルタイム | 16 | 12 |
| 短時間 | 24 | 31 |
| 非正規職員 | | |
| フルタイム | 329 | 286 |
| パートタイム | 629 | 876 |

非正規のフルタイムからパートタイムへの変更すむ

17日の予算決算常任委員会、新年度にパートタイム職員が一気に増えたことに対して(上記表)、山岡議員が同じ職種の中でもパートに変更させられた事例を示して、変更の基準を示すよう求めましたが、個々の職場の事情との説明で明確な基準は示されませんでした。

また、小西議員が本人の同意、職員組合との合意の確認を求めたことについても、組合との合意は必要ないとの驚くべき答弁。公務職場として最低限のルールは守られるべきです。

日本共産党 甲賀市議員団ニュース

2021年 3月 21日 第349号



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨 456
Tel 83-0765
Fax 83-0765



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696